

管内の住宅用火災警報器設置による奏功事例一覧（40事例）

奏功事例 1

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 20 年 3 月	5 時頃	多賀城	ガスこんろ (使用放置)	家人がガスこんろを点火したまま放置したことから、住警器の警報音でフライパンからの出火に気が付き、消火、119番通報したもの。
早期発見により、壁の一部等の焼損で済んだ事例				

奏功事例 2

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 20 年 11 月	16 時頃	七ヶ浜	ガスこんろ (消し忘れ)	使用していたこんろを消し忘れ、別の部屋で食事していたところ「ピーピー」という警報音気付き、こんろ付近が燃えているのを発見、消火したもの。
早期の発見により、外壁の一部等の焼損で済み、延焼拡大が免れた事例				

奏功事例 3

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 20 年 12 月	22 時頃	七ヶ浜	電気ストーブ	台所で洗い物中に、階段に設置の住警器が鳴動したので、2階へ上がると、濃煙と熱気に包まれており、就寝中の子供を避難させ、消火したもの。
早期の発見により、外壁の一部のみの焼損で済み、就寝中の子供の避難が成功した事例				

奏功事例 4

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 21 年 6 月	10 時頃	松島	たばこ (不始末)	留守中の住宅からの警報音に隣人が気付き、煙を発見、近くの事業所員等と協力し、初期消火と119番通報したもの。
早期の発見により、台所の床と壁の一部だけの焼損で済んだ事例				

奏功事例 5

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 21 年 10 月	8 時頃	塩釜	ガスこんろ (消し忘れ)	「ピーピー」という警報音に隣人が気付き、軒下より煙がでているのを発見して、火災を知らせようとしたが留守だったため、119番通報したもの。
早期の発見により、コンロ上の鍋の内容物のみが焦げただけで、火災に至らなかった事例				

奏功事例 6

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 21 年 12 月	20 時頃	多賀城	たばこ (不始末)	留守中の住宅から「ピーピー」という警報音に隣接共同住宅の隣人が気づき、119番通報し、到着した消防隊が消火したものを。
早期の発見により、床の一部だけの焼損で済んだ事例				

奏功事例 7

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 22 年 2 月	20 時頃	塩釜	ガスこんろ (使用放置)	留守中の住宅からの「ピーピー」という警報音に隣人が気づき、軒下より白煙を発見、未施錠の窓から屋内に入りこんろの火を消し、119番通報したものを。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 8

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 22 年 2 月	11 時頃	塩釜	ガスこんろ (消し忘れ)	留守中の住宅で住警器が作動した際の警報音が警備会社に移報されて、駆けつけた警備員がこんろの火を消し止めたものを。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 9

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 22 年 4 月	23 時頃	塩釜	電気関係	3階建て店舗兼住宅の3階で発報した警報音を2階住居部分にいた住人が気づき、迅速な避難及び119番通報をしたものを。
早期の覚知により、出火した階の一部のみの焼損で済んだ事例				

奏功事例 10

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 22 年 5 月	19 時頃	利府	放火	1階にいた両親が、2階からの警報音に気づき消火器を使用して消火したものを。
早期の発見により、出火した部屋のみ焼損で済んだ事例				

奏功事例 11

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 22 年 6 月	3 時頃	多賀城	不明	1階に高齢者、2階に他の居住者が就寝中、警報音で火災に気付いて避難及び1階で就寝中の高齢者を救出したものを。住宅は全焼したが住宅用火災警報器の設置の目的である「死傷者の抑止」に効果のあった事例である。
早期の覚知により、全焼火災住宅から全員が避難できた事例				

奏功事例 1 2

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 22 年 9 月	16 時頃	塩釜	ガスこんろ (消し忘れ)	住人が、ガスこんろで料理中に点火したまま外出してしまい、帰宅した際に建物から白煙及び「ピーピー」という警報音に気付き、屋内に入りこんろの火を消し止めたもの。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 1 3

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 23 年 1 月	9 時頃	利府	ガスこんろ (使用放置)	住人が、ガスこんろで料理中に点火したまま出掛けてしまい、作動した住警器の感知信号が警備会社に移報され、警備会社が 1 1 9 番通報して駆けつけた警備会社職員及び消防隊によってこんろの火を止めたもの。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 1 4

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 23 年 2 月	18 時頃	塩釜	ガスこんろ (消し忘れ)	隣人が「ピーピー」という警報音を聞きつけ、建物に入り台所のガスこんろの火を止めたもの。警報音が鳴っていた住宅に住人は在宅していたが、こんろで料理中に火を消し忘れていて、住人が聴覚不自由なために警報音が聞こえなかったもので、鍋の内容物のみが焦げただけで火災に至らなかった事例である。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 1 5

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 23 年 3 月	10 時頃	塩釜	ガスこんろ (使用放置)	住宅から「ピーピー」という警報音が出ているのを、付近を通りかかった人が気付き近隣の事業所に駆け込み 1 1 9 番通報をして、事業所の社員が住宅に入ろうとしたが不在で施錠されていたので L P G ボンベの元栓を閉めたもの、消防隊が駆けつけた際には火は消えており、鍋の内容物のみが焦げただけで火災に至らなかった事例である。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 16

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 23 年 5 月	2 時頃	塩釜	ガスこんろ (使用放置)	住人が自宅寝室で就寝中、寝室に設置してある住宅用火災警報器の警報音で目を覚まし、台所に向くとガスこんろ付近から天井にかけて燃えていたため、すぐにバケツ・水道用ホースを使用し消火した事例である。
早期の発見により、台所の一部の焼損だけで済んだ事例				

奏功事例 17

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 23 年 5 月	5 時頃	多賀城	石油ストーブ	台所に設置してある住宅用火災警報器の警報音を聞き、思い茶の間に向うと、ストーブ付近から炎が立ち上がっていたため、すぐに濡れタオル等を使用し消火した事例である。
早期の発見により、居室の一部の焼損だけで済んだ事例				

奏功事例 18

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 24 年 1 月	11 時頃	多賀城	ガスこんろ (使用放置)	付近で作業中の人々が住宅からの窓から煙が出ているのを発見し、さらに「ピーピー」という警報音も聞こえたので火災と思い 119 番通報。消防隊が駆けつけ、こんろの火を消した。鍋の内容物が焦げただけで、火災に至らなかった事例である。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 19

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 24 年 2 月	9 時頃	塩釜	ガスこんろ (使用放置)	住人がガスこんろ使用放置してしまい、2 階にいた住人が住警器の「火事です」という音声と煙で気付いたもの。別の家族が衣服を浴槽に浸し鍋に被せて消火。さらに粉末消火器を使用し、完全消火したものの。
早期の発見により、厨房の一部の焼損だけで済んだ事例				

奏功事例 20

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 24 年 8 月	17 時頃	多賀城	魚焼き器 (使用放置)	隣人が警報音及び換気扇からの煙を発見し 119 番通報を行い、自宅内にいた住人に知らせたもの。内容物が焦げただけで火災に至らなかった事例である。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 2 1

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 24 年 8 月	8 時頃	利府	ガスこんろ (使用放置)	台所ガスこんろでゆで卵を作ろうとこんろに鍋をのせたが、こんろではなくグリル(魚焼き器)を点火しそのまま放置した。 台所の警報器が鳴動したが、住人は何の音かわからなかった。外を通りかかった付近住民が警報音と煙に気づきグリルのスイッチを切ったもの。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 2 2

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 24 年 12 月	1 時頃	多賀城	アロマキャンドル (消し忘れ)	住人がアロマキャンドルに点火したまま外出してしまい、隣人が焦げ臭いにおいと「ピーピー」という警報音に気づき 110 番通報し、駆けつけた警察官が水道水で消火したもの。
早期の発見により、リビングの一部の焼損だけで済んだ事例				

奏功事例 2 3

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 25 年 1 月	18 時頃	松島	たばこ (不始末)	隣人が「ピーピー火事です」という警報音が聞こえたため、外に出たところ建物から若干の煙を発見し、大家へ知らせた。駆けつけた大家が水バケツにて消火したもの。
早期の発見により、居室の収容物(布団)のみの焼損だけで済んだ事例				

奏功事例 2 4

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 25 年 4 月	4 時頃	塩釜	化学反応	住人が「ピーピー」という警報音を自宅内で聞きつけ、自宅内を確認したところ、トイレから煙が出ているのを発見し、燃焼物を濡れタオルにて消火したもの。
早期の発見により、トイレ内の収容物と内壁一部の焼損だけで済んだ事例				

奏功事例 2 5

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 26 年 2 月	5 時頃	塩釜	たばこ (不始末)	住人が「ピーピー」という警報音を自宅トイレ内で聞きつけ、居間のこたつ布団から煙が出ているのを発見し、燃焼物をペットボトルの水にて消火したもの。
早期の発見により、居間のこたつ布団とこたつカバーの焼損だけで済んだ事例				

奏功事例 2 6

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 26 年 6 月	16 時頃	利府	ガスこんろ (使用放置)	<p>天ぷら鍋に火を点けたまま来客対応をし 5～6 分ほど経過した頃、台所に設置していた住宅用火災警報器(熱式)が作動したもの。居間に居た娘から天ぷら鍋が燃えていると言われ、台所にあった野菜を天ぷら鍋に投入したところ、たまたま消火に成功した。</p> <p>※なお、消防本部では野菜による初期消火は推奨していません。</p>
<p>早期の発見により、鍋の内容物のみが焦げただけで済んだ事例</p>				

奏功事例 2 7

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 26 年 8 月	18 時頃	多賀城	ガスこんろ (使用放置)	<p>住人の女性が居間でテレビを見ていた際に、台所に設置してある住宅用火災警報器の警報音を聞き、確認に向かったところ、ガスこんろのグリル排気部分が少し燃えていたため、すぐにコップの水にて消火したもの。</p>
<p>早期の発見により、グリル排気部分が少し燃えただけで済んだ事例</p>				

奏功事例 2 8

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 26 年 12 月	9 時頃	多賀城	ガスこんろ (使用放置)	<p>付近で塗装作業をしていた作業員が、建物内で鳴動している警報音に気付き、さらに煙が出ているのを発見したため、119番通報した。</p> <p>当時、家人は不在であり、消防隊が無施錠だった玄関から進入し、ガスこんろの火を止めたもの。</p> <p>家人が、ガスこんろ使用したまま外出したため、鍋から立ち上がった煙を、台所に設置されていた住宅用火災警報器(煙式)が感知し作動したもの。</p>
<p>早期の発見により、火災に至らなかった事例</p>				

奏功事例 2 9

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 27 年 2 月	19 時頃	塩釜	ガスこんろ (使用放置)	<p>店舗にいた従業員が「ピーピー」という音を店舗内で聞き、厨房のドアを開けたところ、こんろ上のてんぷらなべから天井付近まで炎が立ち上がり、換気扇が燃えているのを発見、てんぷらなべに衣服を覆いかぶせ消火し、換気扇の炎を器に汲んだ水道水にて消火したもの。</p> <p>なお、この火災で当該建物の台所天井に設置された住宅用火災警報器(煙式)が作動したものと判明。</p>
<p>早期の発見により、居室の一部等の焼損で済んだ事例</p>				

奏功事例 3 0

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 27 年 9 月	4 時頃	塩釜	コンセント	就寝中に警報音で目を覚ました住人が、飼育用水槽付近から煙が出ているのに気づき、台所の水道水で消火したもの。
早期の発見により、居室の一部等の焼損で済んだ事例				

奏功事例 3 1

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 27 年 9 月	8 時頃	利府	不明	警報音に気付いた住人が、家族へ火災を知らせ 119 番通報し、その後家族が水道ホースにて消火したもの。
早期の発見により、居室の一部等の焼損で済んだ事例				

奏功事例 3 2

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 27 年 9 月	9 時頃	七ヶ浜	ガスこんろ (使用放置)	住人がガスこんろに鍋をかけて外出し、警報音に気付いた隣人が 119 番通報し、ガスこんろの火を消したもの。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 3 3

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 28 年 2 月	11 時頃	七ヶ浜	ガスこんろ (使用放置)	警報音に気付いた住人が台所を確認すると、ガスこんろ上の鍋から炎が上がっているのを発見し、水道水にて消火したもの。
早期の発見により、居室の一部等の焼損で済んだ事例				

奏功事例 3 4

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 28 年 6 月	16 時頃	利府	ガスこんろ (使用放置)	居住者がガスこんろに鍋を掛け点火したまま外出したため、警備会社で設置した火災警報器が感知し、警備会社より当消防本部へ通報された事案。 出動した消防隊によりガス供給を遮断し、火災に至らなかったもの。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 3 5

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 29 年 1 月	18 時頃	利府	ガスこんろ (使用放置)	居住者がガスこんろに鍋をかけ点火したまま放置したため、警備会社で設置した火災警報器が感知し、警備会社より当消防本部へ通報された事案。火災に至らなかったもの。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 3 6

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 29 年 2 月	17 時頃	多賀城	ガスこんろ (使用放置)	共同住宅の一室において、居住者がガスこんろに鍋をかけ点火したまま放置し、警報音に気付いた隣人が、こんろの火を止めた後、119番通報したものの。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 3 7

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 29 年 6 月	17 時頃	利府	ガスこんろ (使用放置)	居住者がガスこんろにフライパンをかけ点火したまま放置したことから住宅用火災警報器が感知したもの。近隣住民が住宅用火災警報器の警報音に気が付き、白煙と焦げ臭さを感じ119番通報を行った。また、自宅にいた居住者はガスこんろの使用放置による煙に気付くとガスこんろの火を止め、フライパンに蓋をした後、消防隊が到着するまで屋外へ避難していた。なお、怪我人、焼損物等はなかった。
早期の発見により、火災に至らなかった事例				

奏功事例 3 8

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 29 年 9 月	12 時頃	多賀城	不明	共同住宅の一室において、就寝中の居住者（10代）が、住宅用火災警報器の警報音で目を覚ましたところ、居室が煙で充満していたため、屋外へ避難し携帯電話で119番通報をした。
早期の発見により、居室の一部の焼損だけで済んだ事例				

奏功事例 3 9

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 29 年 12 月	20 時頃	塩竈市	ライター	共同住宅の一室において、全盲である居住者が「ピーピー」という音に気が付き、電話で近隣住民に助けを求めた。駆けつけた近隣住民が、台所付近から火炎と煙を確認し、濡れタオル及び水道水で消火した。
早期の発見により、延焼拡大が免れた事例（ぼや）				

奏功事例 40

年月	時間	市町	原因	発見・通報・初期消火状況
平成 29 年 12 月	10 時頃	多賀城市	電気ストーブ	1 階居室にいた居住者が 2 階寝室に設置していた住宅用火災警報器の警報音に気付き、119 番通報し、屋外に避難したもの。(初期消火の実施なし)
早期の発見により、被害を最小限に食い止めた事例 (ぼや)				